



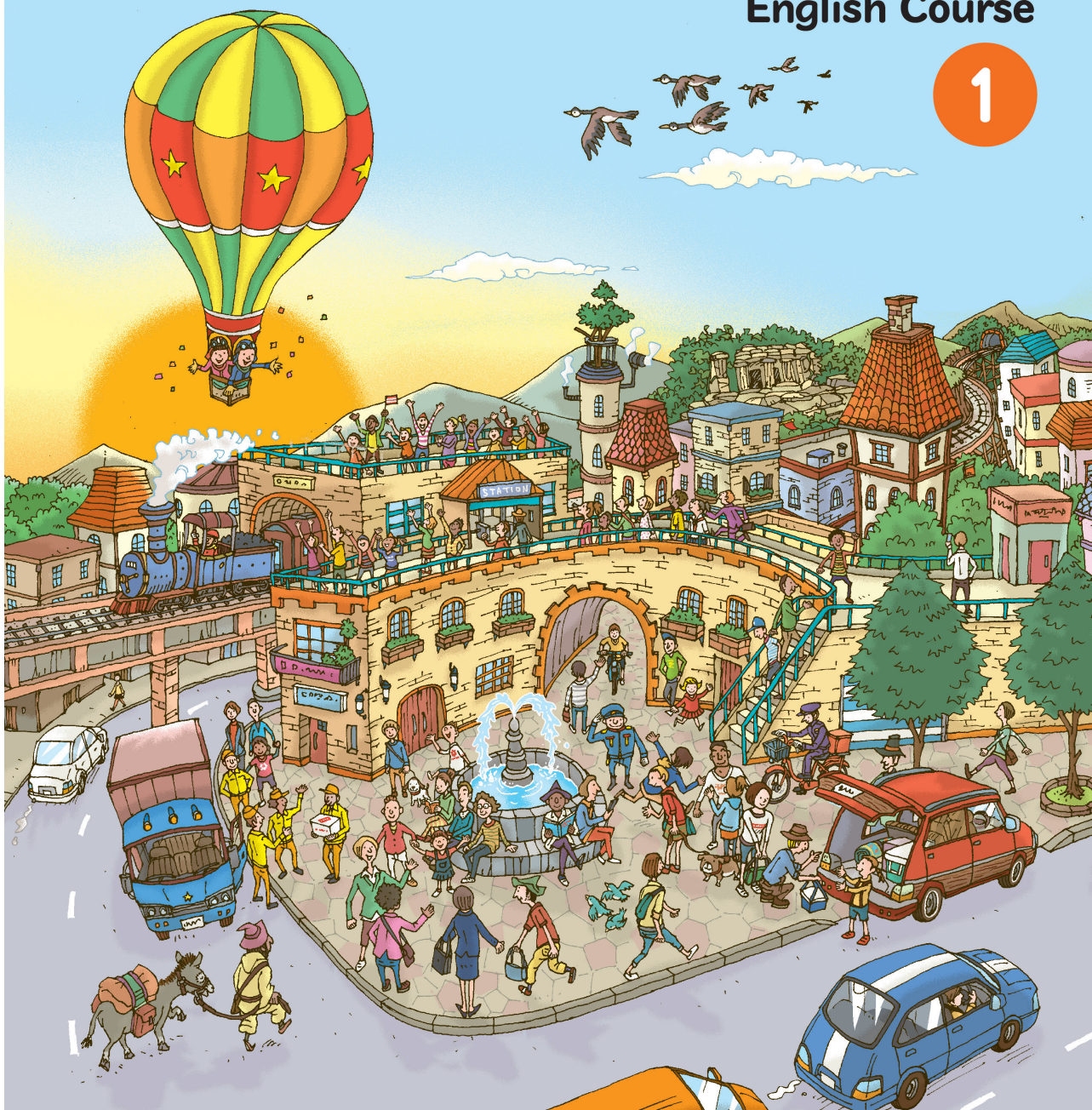
内容解説資料

文部科学省検定済教科書 中学校外国語科用 17 教出 英語 704

ONE WORLD

English Course

1



Welcome to ONE WORLD!

2021年度から、いよいよ新学習指導要領が中学校でも完全実施されます。変化を続ける世界の中で、自らの生き方を選び、社会につながるために、外国語によるコミュニケーション能力がきわめて重要になるでしょう。

『ONE WORLD English Course』は、小学校英語で養われた素地を活かしながら、中学校の新学習指導要領が求める資質・能力を高め、生涯にわたって主体的に学び続ける学習者の育成をめざす教科書です。

Welcome to ONE WORLD!

さらにグローバル化が進む未来の世界——ONE WORLD——に向かって、本教科書が楽しく充実した英語学習に役立つことを願ってやみません。



代表著者
本多 敏幸

東京都千代田区立九段中等教育学校指導教諭。中央教育審議会教育課程部会外国語ワーキンググループ委員。ELEC 同友会英語教育学会会長、英語授業研究会理事。



代表著者
金森 強

文教大学教育学部(英語専修)教授。横浜国立大学教育学専攻科(英語教育)修了(教育学)。愛媛大学、松山大学、関東学院大学を経て、2016年4月から現職。第四期中央教育審議会委員、日本児童英語教育学会理事、日本実践英語音声学会理事。



監修
松本 茂

マサチューセッツ大学ディバート・コーチ、神田外語大学助教授、東海大学教授などを経て、2006年4月より立教大学経営学部国際経営学科教授。同学部バイリンガル・ビジネスリーダー・プログラム(BBL) 主査。同大学グローバル教育センター長。

(撮影：藤田浩司)

もくじ

ONE WORLD の3つの特長	2
ポイント1 スムーズな小・中接続	4
1 小学校英語を活かす、広げる	6
2 身近な活動を通して中学校英語に親しむ	8
3 5年間の「できた!」を高校につなげる	10
ポイント2 「生きて使える英語力」が身につく	12
1 「確かな力」を育むレッスン構成	14
2 「即興で話す力」が身につく “Activities Plus”	18
3 「学ぶ力」を引き出す多彩なコンテンツ	20
ポイント3 持続可能な世界へ向けて	22
1 世界と日本を知る ～私たちの軌跡と現在～	24
2 日常生活から社会への視野を開く	26
3 未来をつくる知性と感性を育む	27
4 SDGsの達成をめざして	28

「まなびリンク」で『もっと学びたい!』にこたえる…30

すべての生徒のための配慮…31

教師用指導書で授業をサポート…32

学習場面をつなぐ! 広げる! デジタル教科書・教材…34

さまざまな授業展開をサポートする周辺教材(備品)…35

『ONE WORLD』のここが知りたい! Q&A…36

別添資料

教科書の構成と内容
検討の観点と内容の特色

教育出版とONE WORLDの歩み

教育出版は1948年5月に創業。翌年9月には、初の教科書展示会に小学校の音楽と高等学校の英作文法の教科書を展覧しました。中学英語教科書『ONE WORLD English Course』は1987年に発刊。当初より一貫して、知識の定着にとどまらず、実践的な言語活動を重視する教科書としての歩みを進めてきました。

ONE WORLDの 3つの特長

『ONE WORLD』の学習は、小学校で育んだコミュニケーションの基礎を確認することから始まります。**小学校での学びを生かした構成**により、生徒は安心して中学校の英語学習に取り組めるでしょう。

また、実践的な言語活動を重視してきた『ONE WORLD』らしく、実際に**「生きて使える英語力」**を身につけるための仕掛けが充実しています。

さらに、英語を通じてグローバルな問題意識を含むさまざまな題材にふれることで、**持続可能な世界**をめざしていくための幅広い視野を育むことができます。

ポイント ① スムーズな小・中接続

ポイント ② 「生きて使える英語力」が身につく

ポイント ③ 持続可能な世界へ向けて



スムーズな小・中接続

中学校では、入学してくる生徒たちの小学校での多様な学びの実態を再確認して、中学校とのギャップを感じさせないように配慮したり、小学校で養われた素地を活かしながら中学校の学びに確実につながるよう工夫したりするなど、新たな課題への対応が求められています。

『ONE WORLD』は次の3つの特長を通して、生徒が**安心して中学校の英語学習に取り組むことができる**、**スムーズな小・中接続**を実現します。

- 1 小学校英語を活かす，広げる
- 2 身近な活動を通して中学校英語に親しむ
- 3 5年間の「できた！」を高校につなげる



小学校英語を活かす, 広げる

楽しく小学校英語の復習ができる“Springboard”

1年生の学習は、“Springboard”から始まります。イラストを使ったリスニングやゲームに取り組むことで、小学校で慣れ親しんだ表現を**楽しく、効果的に復習**することができます。

Springboard 2 さまざまな会話

英語を聞いて、どの場面が当ててみよう。

小学校英語で扱う場面を1枚のイラストに凝縮!

<会話の例>
 A: How can I get to the station?
 B: Go straight for three blocks, and turn left.

Springboard 1 Nice to Meet You!

英語の発音練習! このイラストを通して英語を正確に発音することができます。このイラストを見て、発音練習をしましょう。

Ayo (アヨ), Mei (メイ), Kenta (ケンタ), Bob (ボブ), Mr. Kato (カト)

小学校英語「ONE WORLD Smiles」の主人公アヤが、新しい友達と出会います。ここではコミュニケーションの基本である自己紹介と、好きなものの言い方を確認します。

中学校から本格化する「書くこと」に向けて、英語の書き方もしっかり確認します。

Tips 英語の書き方のルール

Are you from America?
No, I'm not.

● 英文の最初の単語は必ず大文字で始める。 ● 単語と単語の間はスペースをあげる。
 ● 人や国の名前は、英文の発音でも大文字で書く。
 ● 数字の書き方は1から10まで、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20などの記号をつける。
 ● 「は」を表す「is」は、英文の発音でも大文字で書く。

Springboard 3 音声から文字へ

1. 英語を聞いて、黄色の中の文字を選ぼう。

① c u p ② p e i n ③ h a t

2. 英語を聞いて、読まれた単語を○で囲もう。

① fish dish ② 3 tree ③ pet

3. ビンゴ・ゲームをしよう。まず、A、Bどちらかを選び、()に○を入れよう。次に、英語を聞いて、選んだ表の中の単語に○をつけていこう。

A ()				B ()			
big	ten	win	fun	sun	map	put	red
red	leg	hit	cat	hit	get	kid	dog
map	kid	not	ten	fun	big	leg	not
get	sun	put	dog	ten	cat	win	ten

ビンゴ・ゲームで音声聞き分け

小学校で親しんできたビンゴ・ゲームだから、音声に集中できます。

小学校英語の学びを広げ、中学校の学びを積み上げる

Springboardだけでなく年間を通して、小学校で経験してきた活動場面や話題が現れるよう配慮しています。また、それらが第2・3学年でも少しずつ発展しながら随所に現れることで、スパイラルに学習を積み上げていくことができます(→別添資料「教科書の構成と内容」)。

Springboard 4 Sugoroku

英語の質問に答えながら進むすごろく。小学校で学んださまざまな表現を、楽しく復習することができます。

START

1. When is your birthday?
2. Talk about your treasure.
3. What time do you get up?
4. Where do you want to go?
5. Lose your next turn.
6. Move forward 2 spaces.
7. What sports do you like?
8. Move backward 8 spaces.
9. Who is your hero?
10. What do you want to do at school?
11. Talk about today's lunch menu.
12. Say 3 countries in English.
13. Sing ABC song.
14. What do you want to do at home?
15. What's your best memory?
16. Clap your hands for seconds.
17. Self introduction (自己紹介)
18. Talk about an event in Japan.
19. Say 3 countries in English.
20. Move backward 8 spaces.
21. Sing ABC song.
22. Clap your hands for seconds.
23. What's your best memory?
24. What do you want to be?
25. Tongue Twisters

GOAL

● 小学校で学んだ表現を使ってすごろくゲームを楽しみましょう。

小学校で学んだ表現をすごろくで活性化!



身近な活動を通して中学校英語に親しむ

Activityを通した中学校英語への接続

1年生の序盤のLesson(Lesson 1～3)は、小学校と同様に生徒の身近な生活に即したコミュニケーション活動を重視した構成になっています。自己紹介や友達とのチャット、お気に入りの人物の紹介などの活動をおこない、新しいクラスメイトと交流しながら、中学校英語への親しみを深めていくことができます。

Lesson 1 Hello, New Friends

Goal 英語で自己紹介のカードをつくろう。

Activity 1 英語であなたのネームカードをつくって、友達と交換しよう。

Listen アヤとボブがどんな話をしているか、聞いてみよう。

Speak アヤとボブのやりとりを参考にして、自己紹介とカード交換をしよう。

Write 巻末のカードを使って、あなたのネームカードをつくろう。

NAME Ono Ayaka
I like music.

NAME Robert West
I like science.

Hello.
Hello.

I'm Ono Ayaka. Please call me Aya.
I like music. I play the piano.

Oh, Aya, you play the piano.
That's nice!
I'm Robert West. Please call me Bob.
My favorite subject is science.

Oh, you like science. Great!
Nice to meet you, Bob.

Nice to meet you, too, Aya.

小学校英語と同じ見開き単位の活動で構成

自己紹介の例を聞くだけでなく、相手に伝わりやすい話し方、聞き手の配慮について考えます。

よりよいコミュニケーションのためのポイントも示しています。

友達の会話広がる!

名前相手のことを考えてはっきりゆくり言おう。

相手の名前を呼びかけよう。聞き取ったことを確認し、相手をほめよう。

質問と応答の練習をしよう。

会話はずむように、質問に対して2文以上で答えよう。

答える側は教科書を指いで答えよう。必要に応じていろいろな答え方をしてみよう。

early 早く every day 毎日 smartphone スマートフォン
TV drama(s) テレビ・ドラマ yesterday 昨日 meter(s) メートル

12 twelve

つくって交換!

巻末カード

巻末のカードを切り取って、オリジナルのネームカードをつくることができます。学級づくりにもおすすめの活動です。



Lesson 2では、ペアで活動できる応答の参考例を紹介。友達との会話がはずみます。

Activity 2 自己紹介のスピーチをしよう。

Listen アヤの自己紹介のスピーチを聞いて、わかったことを友達と伝え合おう。

スピーチした内容をもとに、書く活動につなげることもできます。

わかったこと

Dear _____

あなたの名前→ _____

書き終わったら、見直しをしよう。

文の最後は大文字になっているか。
文の最後にピリオドやクエスション・マークをつけているか。
1つの語句を2文以上のままとりしているか。

14 fourteen

Lesson 2-1

Do you like sports?
Yes, I do. I sometimes play soccer with my friends.

質問と応答の練習をしよう。

質問	応答例
1 Do you like sports?	Yes, I do. I'm on the basketball team.
2 Do you play video games?	No, I don't. I don't have any video games.
3 What's your favorite subject?	I like English. It's interesting.
4 Do you get up early?	Yes, I do. I usually get up at 6:30.
5 Are you good at cooking?	Yes, I am. I sometimes cook for my family.
6 Do you read a book every day?	No, I don't. But I like reading.
7 Can you ski?	No, I can't. But I watch winter sports on TV.
8 Do you listen to music every day?	Yes, I do. I use my smartphone.
9 Do you like TV dramas?	Yes, I do. I watched a new drama yesterday.
10 Are you good at swimming?	Yes, I am. I can swim 25 meters.

early 早く every day 毎日 smartphone スマートフォン
TV drama(s) テレビ・ドラマ yesterday 昨日 meter(s) メートル

23 twenty-three

Lesson 3 My Favorite Person

Activity 1 友達や先生を紹介する文を言ってみよう。

Listen & Read サッカー部に入ったボブは、新しい友達ペドロ(Pedro)と出会いました。2つの場面を比べて、英語の表現の違いについて考えてみよう。

A ペドロが自分自身のことを話したとき

I'm Pedro. I come from Brazil.
I like soccer very much.
I watch soccer videos in my free time.
I don't like practicing early in the morning.

B ボブが家でペドロのことを話したとき

I have a new friend. His name is Pedro.
He comes from Brazil.
He likes soccer very much.
He watches soccer videos with me on the soccer team.

Activity 3 続き

Write だれを紹介するか決めて話す内容を考え、メモを書いてみよう。p.46～47の資料も参考にしよう。

1 紹介する人 Takanashi Sara

2 その人物の職業 a professional ski jumper

34 thirty-four

小学校で取り組んだ活動の発展形に挑戦

Lesson 3では、友達や好きな人物を紹介する活動に取り組みます。

5年間の「できた！」を高校につなげる

各学年の目標達成度を振り返る Can-Do自己チェックリスト

Can-Do自己チェックリストは、「英語で何ができるか」という観点から5つの領域ごとに設定された学習到達目標の達成度を確認できる一覧表です。

『ONE WORLD』のCan-Do自己チェックリストでは、小・中を一体にとらえた5年間の英語学習のためのリストの、後半3年分を掲載しています。小学校からスムーズにつながった目標によって、**5年分の「できた！」を実感**することができます。

小学校英語教科書『ONE WORLD Smiles』が設定している到達目標

スムーズに接続

チェックリストはいつでも見やすい後見返しに掲載。常に目標を意識しながら学習できます。

項目ごとの関連箇所が明示されているので、どの箇所を見て自己評価するとよいかすぐにわかります。

	小学校5年生	小学校6年生
【聞く】 聞く	①ゆっくりはっきり話してもらえば、身近な語句や表現を聞き取ることができる。 ②ゆっくりはっきり話してもらえば、簡単な活動の指示などを聞き取ることができる。	①ゆっくりはっきり話してもらえば、身近なことについて具体的な情報を聞き取ることができる。 ②ゆっくりはっきり話してもらえば、身近なことについて短い話のあらましを理解することができる。
【話す】 話す	①アルファベットの大きい文字と小さい文字を読むことができる。 ②音声で慣れ親しんだ身近な語句を見て、その意味を理解することができる。	①音声で慣れ親しんだ身近な語句や表現を読んで理解することができる。 ②ごく短い文章を読んで、音声で慣れ親しんだ語句や表現から大まかな内容を理解することができる。
【読む】 読む	①好きなものやできることなどを伝えたりたずねたりすることができる。 ②身近なものごとや人物について、伝えたりたずねたりすることができる。 ③相手の話に対して、相づちを打つなど反応することができる。	①過去にしたこと、これからしたいことなどについて、感想などをまじえて伝えたり、たずねたりすることができる。 ②相手の話に対して、驚きや共感などを伝えることができる。
【書く】 書く	①好きなものやできることなど、自分のことについて、ごく短い発表をすることができる。 ②準備をすれば、身近なものごとや人物について、ごく短い発表をすることができる。	①過去にしたこと、これからしたいことなどについて、感想などをまじえて発表をすることができる。 ②準備をすれば、身近なものごとや人物について、短いスピーチを行うことができる。
【表現】 表現	①アルファベットの大きい文字と小さい文字を書くことができる。 ②音声で慣れ親しんだ身近な語句や表現をなぞり書きしたり、書き写したりすることができる。	①音声で慣れ親しんだ語句や表現を書き写すことができる。 ②例文を参考にして、自分のことについて語順を意識しながら簡単な文を書くことができる。

Can-Do 自己チェックリスト

学習到達目標をどれくらい達成できたか、自分で確認しよ自己評価欄のマークを○で囲もう。

	1年学習到達目標	関連箇所	自己評価
【聞く】 聞く	①はっきり話してもらえば、天気や持ちものの連絡など自分が必要なことを聞いて、理解することができる。	L. 8-2など	😊😊😊😊
	②はっきり話してもらえば、話し手が伝えたいことや求めていることを理解することができる。	L. 1-2 / Tips 2 / Tips 4など	😊😊😊😊
【話す】 話す	①日記やブログなどの短い文章を読んで、文章の大まかな内容を理解することができる。	L. 4-1, 3 など	😊😊😊😊
	②物語などを読んで、先の展開を考えるなど楽しみながら、話のあらましを理解することができる。	Reading Lesson / Further Readingなど	😊😊😊😊
【読む】 読む	①相手が話した内容について、関連する質問をすることができる。	L. 1-3 / L. 2-1など	😊😊😊😊
	②相手の質問に対して、必要に応じて情報を加えて応答することができる。	L. 5-2 / L. 6-2, 3 / L. 7-1, 2, 3 / L. 8-1など	😊😊😊😊
	③身近な話題であれば、相づちを打ちながら、会話を続けることができる。	L. 2-2, 3, 4 / Activities Plusなど	😊😊😊😊
【表現】 表現	①準備をすれば、人物や調べたことなどについて、短いスピーチを行うことができる。	L. 1-3 / L. 3-6 / Projectなど	😊😊😊😊
	②自己紹介や友達への紹介などを即興で行うことができる。	L. 3-1 / L. 5-3など	😊😊😊😊
	③聞いたり読んだりして把握した内容について、他の人に口頭で伝えることができる。	L. 3-2, 5 / L. 8-3 / L. 9-2, 3など	😊😊😊😊
【書く】 書く	①自分のことについて、日記、手紙、スピーチ原稿などの短い文章でまとめることができる。	L. 1-4 / L. 2-5 / L. 4-1, 3 / Tips 1 / L. 8-2など	😊😊😊😊
	②聞いたり読んだりして把握した内容を、短い文章でまとめることができる。	L. 9-1 など	😊😊😊😊

	2年学習到達目標
【聞く】 聞く	①はっきりと話してもらえば、短いスピーチや説明のあらましや大事な部分を理解することができる。
【話す】 話す	②活動のやり方などの説明や指示を聞いて、適切に応じることができる。
【読む】 読む	①手紙などの文章を読んで、書き手の意向（伝えたいこと）を理解することができる。
【表現】 表現	②ポスターなどを読んで、自分に必要な情報を読み取ることができる。
【書く】 書く	①知らない語句があっても別の表現を使ったりしながら会話を続けることができる。
【表現】 表現	②教科書の題材について知っていることや読んだ内容の感想などを伝えることができる。
【表現】 表現	③身近なものや人物について、その特徴などを即興で相手に説明することができる。
【表現】 表現	④メモをもとに、大事なことを落とさずに相手に伝えることができる。
【表現】 表現	⑤読んだことの内容について、絵や図などを参考にしながら、相手に伝えることができる。
【表現】 表現	⑥考えを整理して、まとまりのあるスピーチ原稿を書くことができる。
【表現】 表現	⑦自分の経験や感想を読み手にわかりやすく書くことができる。
【表現】 表現	⑧教科書の文章に、自分で考えた英文を加えて書き、話を発展させることができる。

	3年学習到達目標
【聞く】 聞く	①社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば、要点を理解することができる。
【話す】 話す	②自分の考えと比較しながら、話し手の考えを理解することができる。
【読む】 読む	①社会的な話題の文章を読んで、書き手がもっとも伝えたい大事な部分を理解することができる。
【表現】 表現	②物語や説明を読んで、ものごとの順序や大切な部分を理解しながら、内容を理解することができる。
【表現】 表現	③わからなかったことなどを聞き返したりしながら会話を続けることができる。
【表現】 表現	④社会的な話題であっても、準備をすれば考えたことや感じたことなどを述べ合うことができる。
【表現】 表現	⑤準備をすれば、聞き手を説得するスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。
【表現】 表現	⑥さまざまな話題について、即興で自分の考えを述べることができる。
【表現】 表現	⑦教科書の内容について、自分で調べたことを加えるなどして、事実や感想を述べることができる。
【表現】 表現	⑧理由や例をあげて、相手に説明する短い文章を書くことができる。
【表現】 表現	⑨構成を考えて、読み手にわかりやすいまとまりのある文章を書くことができる。
【表現】 表現	⑩聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えを書くことができる。



各学年の生徒にとって無理のない到達目標を、領域別に設定しています。

どの学年でも、当該学年の目標だけでなく、3年間の目標を掲載しています。長期的な見通しの中で目標達成度を確認することができます。

達成感をもって、高校英語へGO!!

「生きて使える英語力」が身につく

グローバル化がめざましく進展している現代。

英語教育においても、異なるバックグラウンドをもつ人々と積極的にコミュニケーションをとり、主体的に自らの思いや考えを発信し、対話することができる力——「生きて使える英語力」——を身につけることが求められています。

『ONE WORLD』は、次の1～3の「確かな力」「即興で話す力」「学ぶ力」を育てるしくみを通じて、基礎・基本の力に支えられた**「生きて使える」実用的な英語力**を養います。

- 1 「確かな力」を育むレッスン構成
- 2 「即興で話す力」が身につく“Activities Plus”
- 3 「学ぶ力」を引き出す多彩なコンテンツ



「確かな力」を育むレッスン構成

基礎・基本から応用へ、確実に学びを積み上げる

さまざまな角度から、本文の内容や新出の文法・文構造にアプローチします。
しっかりと基礎が身につく、応用・発信に無理なく取り組むことができる素地を養います。

Lesson				
Part 1	Part 2	Part 3	Review Task	Grammar
(計6～8時間配当)			(計1時間配当)	(1時間配当)
Part 1,2は主に対話文、Part 3は主に叙述文です。Part 3では「読むこと」にも重点を置き、本文の量を増やしています。3つのPartの学習後、「Review」「Task」「Grammar」の3つのコーナー(→p.16)で理解を深めます。Activities Plus(→p.18)の活動を並行して行くと、効果的に英語力が向上します。				
Activities Plus				

Tips / Useful Expressions	Project	Reading
(各1時間配当)	(2時間配当)	(3～6時間配当)
英語のコツを紹介するTips(→p.21)や、スキットを通して表現を身につけるUseful Expressions(→p.17)で知識・技能の幅を広げます。	これまでに学習したことを総合的・統合的に活用して、グループなどで課題を達成していく活動に挑戦します(→p.17)。	通常のレッスンより長く、まとまった内容や展開がある英文を読みます(→p.27)。

～学習の基本的な流れ～

Goal
Partごとに明確な目標を設定。授業の指針にすることができます。

Part 1
Goal 盲導犬について説明しよう。
アヤとボブが、盲導犬について話しています。

Key Sentence
基本文を提示。意味と構造がわかりやすいシンプルな例文を精選しています。

Key Sentence
My father gave me this book.
Notes 「(人)に(もの)をあげる」などを表現する
✓「主語+動詞+(人)+(もの)」の語順になります。
✓このような語順になる動詞には、give, send, tell, showなどがあります。

Notes
基本文の意味・形・用法を簡潔に説明しています。

Words & Phrases

- service [sɜːrvɪs] service dog 介助犬
- guide [ɡáid] guide dog 盲導犬
- harness [háːrnɪs] ハーネス、胴輪
- What ~ for? ~は何のためですか。
- blind [blaɪnd]
- send [sɛnd]
- message(s) [mɛsɪdʒ(ɪz)]
- through [θruː]
- owner [əʊnər]
- corner [kɔːrnər]
- obstacle [əbstækəl]

Bob: My father gave me this book. It's about service dogs.
Aya: What kind of dog is this?
Bob: It's a guide dog. It wears a harness.
Aya: What is the harness for?
Bob: A blind person can send messages to the guide dog through it, for example, "go" and "stop."
Aya: Can the guide dog also send its owner messages?
Bob: Yes, messages like "there is a corner" and "there is an obstacle."



Tool Kit

My father gave me this watch.

例 gave / this watch

1 showed / his new tablet PC
2 tells / new information
3 sent / an email

Tool Kit
基本文と同じ形の文がどのような場面で使えるか、楽しいイラストで直感的に理解しながら練習し、定着を図ります。

Words & Phrases
新出語句を提示。重要なものは太字で、意味がわかるだけでよいものには日本語訳を添えて示し、学びやすく工夫しました。

Question
質問を通して、本文の理解を確認できます。

Read Aloud
印をつけて、音読回数を記録できます(日本語の「正」の字にあたる英語のtally marks)。

Question
What does a guide dog wear?

Read Aloud

||||| |||||

10 ten 文のリズム What is the harness for?

Listen 会話を聞いて、内容に合う絵をそれぞれ選び、記号を○で囲もう。

(1) A B

(2) A B

(3) A B

Listen
基本文と同じ形の文を、耳で聞いて理解できるか確認します。

Think & Try!
次の会話を演じてみよう。最後に自由にやりとりを加えよう。

Bob: My father gave me this book. It's about service dogs.
Aya: What kind of dog is this?
Bob: It's a guide dog.
例 What's this? — It's a harness.
What does a guide dog do? — It helps blind people.

本文をヒントにして、質問したり、情報を付け加えたりしてみよう。



eleven 11

理解を深める重層構造

各レッスンの最後には、「Review」「Task」「Grammar」の3つのコーナーがついています。それぞれ異なる観点をもつこれらのコーナーに取り組むことで、本文の内容や言語材料を**重層的に、じっくりと理解**できるようになります。

Review

レッスン全体の本文内容・言語材料・重要な語彙などを確認することができます。本文内容を要約する課題のための素材として活用することも可能です。

Grammar

レッスン内の主な言語材料をまとめて確認することができます。言語材料が実際に使われる文脈がわかるモデル文を参考に理解を深め、友達と会話するなどの活動へと展開することもできます。

Review

Aya and Mei () to the summer festival. Aya () fried noodles, but Mei () eat any. They () to Japanese music. They saw the () at the riverbank. They () beautiful. Bob went to Yellowstone with his family. They () a tent and () in it.

Task

KentaとMs. Kingが夏休みについて話しています。Kentaが夏休みに行ったところ、そこでしたこと、しなかったことについて3文でまとめて書こう。

聞き取ったことをメモしよう

行ったところ

そこでしたこと

しなかったこと

Kenta _____

He _____

He _____

Grammar

過去のことを表す文

A: I watched a soccer game on TV yesterday. Did you watch it?
B: Yes, I did. It was a good game. But my favorite player Kazuya didn't play.

1. 過去のことを言うとき

I watch a soccer game on TV every Saturday.
I **watched** a soccer game on TV yesterday.

It is a good game.
It **was** a good game.

2. 過去のことをたずねるとき (疑問文)

You watched it.
Did you watch it?

Aya was busy.
Was Aya busy?

3. 過去のことで「しなかった」ことを言うとき (否定文)

Kazuya played soccer.
Kazuya **didn't play** soccer.

Lesson 4 をふり返ろう

- 動詞の過去形を理解して、使うことができる。
- 夏休みにしたことについて、英語で理解したり、伝えたりすることができる。
- 夏休みにしたことについて、まとまった文を書くことができる。

Task

本文とは異なる場面の英語を聞いて、その内容について話したり書いたりする統合的な活動です。

Lesson をふり返ろう

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をもとに、各レッスンで達成できたことを確認します。

活動で表現力を育むしくみ

「Useful Expressions」や「Project」のコーナーでは、さらに**実践的なコミュニケーション活動**を通じて、**英語で表現・発信する力**を身につけることができます。

Useful Expressions

日常的な場面を設定し、その場面をよく使われる表現を紹介しています。「生きて使える英語」に直結する表現を学ぶことができます。

Project

これまでに学んできた知識や表現を活かし、5領域を総合的に活用して課題解決に取り組む活動です。グループなどで協働しながら、生徒自身の主体的な思考・判断を加えた表現活動を行います。

Project 2

行ってみたい名所を紹介しよう！

Arataが書いた次の紹介文を参考にして、あなたが行ってみたい名所について紹介してみよう。

I want to climb Mt. Fuji someday. It is located between Shizuoka and Yamanashi. It is the highest mountain in Japan. It is 3,776 meters high. It became a World Heritage Site on June 22, 2013. There are many sightseeing spots around Mt. Fuji, so it is very crowded throughout a year, especially in summer. We can enjoy hot springs at the base of Mt. Fuji. Mt. Fuji is a symbol of Japanese beauty.

1 あなたが行ってみたい名所について、情報を日本語でメモしよう。

どこにあるか

何ができるか

特色

行ってみたい名所

有名なもの

その他の情報

Useful Expressions

Directions ▶ 校舎案内の表現

Goal 目的の場所への行き方を伝えて、校舎を案内しよう。
アヤが学校で、新しく来たALTの先生に話しかけられました。

Excuse me.
Where's the teachers' room?

It's on the second floor.
Go up the stairs and turn right.

Turn right on the second floor?

That's right.
It's the second room.
You're welcome.

I see. Thank you.

the third floor	English room	science room	art room	library	computer room	
the second floor	room 3-3	room 3-2	room 3-1	nurse's office	teachers' room	principal's office
the first floor	room 1-3	room 1-2	room 1-1	room 2-3	room 2-2	room 2-1

アヤとALTの先生がいる場所

Speak 下線を置きかえて、次の場所への行き方を言ってみよう。

- (1) library (2) English room

And More Words

go down the stairs 階段を下りる turn left [right] 左 [右] に曲がる
go straight 真っすぐ進む between A and B AとBの間に
next to ~ ~のとなりに near ~ ~の近くに around ~ ~のあたりに
in front of ~ ~の前に on your left [right] あなたの左側 [右側] に
art room 美術室

Words & Phrases

excuse [ɪkskjuːz]

Excuse me.

where's [wɛəz]

floor [flɔː]

go up ~

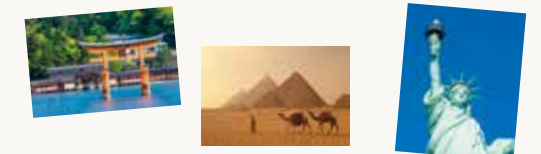
stair(s) [steɪr(s)]

2 1のメモに、どの順番で名所を説明するか番号を記入しよう。

3 1のメモをもとにして、あなたが行ってみたい名所を紹介する英文を書こう。

● 行ってみたい名所

● 3で考えた順番で説明しよう



And More Words

climb ~を登る someday いつか It is located ~, ~に位置する. crowded 混雑した
at the base of ~ ~のふもとで beauty 美しい
It is famous for ~, ~で有名です. There is [are] ~, ~があります.
We can enjoy ~, ~を楽しむことができます.
I'm looking forward to ~, ~を楽しみにしています.
Let me introduce about ~, ~について紹介します.

「即興で話す力」が身につく “Activities Plus”

「生きて使える英語力」への架け橋

ペアでの活発な対話活動を促す「Activities Plus」は、新学習指導要領で新たに加わった5つめの領域「話すこと[やり取り]」の力を引き出す強力なアイテムです。

付属の赤色マスキングシートや、QRコードからアクセスできる音声を使って、はじめは紙面の例を参考に活動します。活動を重ね、お互いの表現から学び合うことで、既習の表現をどんどん活性化させ、自由に活用できるようになっていきます。



ここが使える!

Activities Plusの5つの特長

①「帯活動」に最適

Q&A活動を「帯活動」として日々の授業に継続的に取り入れれば、英語でコミュニケーションをとる力が自然に向上していきます。また、既習事項の効率的な復習にもなります。

②学習段階に応じた5つのステージ

学習段階に対応する形で、各学年5つのステージで構成しています。既習の言語材料を何度も活性化させながら、3年間たっぷり活用できます。

③会話が広がる話題や語句を紹介

記載されたQ & Aはあくまでも例。会話を広げるための話題や便利な語句も紹介しているので、やり取りの幅がどんどん広がります。

④「生きて使える英語力」が身につく

Q & A活動は、いわば会話の実践練習。あいづちを打ったり、相手の理解を確認したりする「生きたコミュニケーション」を通じて、実用的な英語力を身につけることができます。

⑤マスキングシートとQRコードで自主学習も可能

付属の赤色マスキングシートや、QRコードからアクセスできる音声を利用して、赤い文字を隠したり音声を聞いたりしながら自主学習をすることも可能です。

Activities Plus 1



1年生までに学習したさまざまな文のしくみや表現をどんどん使ってみよう!



Questions & Answers

質問に2文以上で答えよう。

質問 Questions	応答例 Sample Answers
1 How was your spring vacation?	It was great. I went fishing with my friends.
2 Will it be sunny tomorrow?	Yes, it will. It will be warm tomorrow.
3 Did you have breakfast this morning?	Yes, I did. I had toast and milk this morning.
4 What is your favorite season?	It's spring. My birthday is in May and we can meet new friends in April.
5 Is there a good restaurant near your house?	Yes, there is. There is a popular Chinese restaurant.
6 What do you do in your free time?	I play video games. I sometimes watch TV.
7 What are you going to do next Sunday?	I'm going to play tennis at school. We are practicing for the tennis match.
8 Are you good at singing?	No, I'm not. But I sometimes enjoy karaoke.
9 What is your favorite school event?	It's the school festival. It is a lot of fun.
10 Who comes to school early?	Mari does. She gets to school at 7:10 every morning.
11 How many books are there in your house?	There are about 300 books. My father likes reading.
12 How often do you do exercise?	I do exercise only twice a week. I do it only in P.E. class.
13 Are you going to watch TV this evening?	No, I'm not. I'm going to do my homework after dinner.
14 Can you play any musical instruments?	No, I can't. I want to learn drums.
15 What kind of food do you like?	I like Italian food. I love spaghetti.

Topics for Speaking

即興のチャットやスピーチをしてみよう。

話題 Topics	チャットで使う質問例 Sample Questions
1 Spring Vacation	How was your spring vacation? Did you have a good spring vacation?
2 Favorite Season	What is your favorite season? Do you like summer or winter?
3 Free Time	What do you usually do in your free time? Do you play video games in your free time?
4 Reading	Do you like reading? Do you often go to the school library?
5 Music	Do you like music? What kind of music do you like?
6 Sports	Do you play any sports? How often do you watch sports on TV?

即興スピーチにチャレンジ! Impromptu Speech

1. My spring vacation was quiet. I didn't go anywhere. I read three books.
2. My favorite season is summer. We have a long vacation. I like swimming in the sea.
3. I watch videos in my free time. I love anime. I want to be a voice actor.
4. I like reading. My favorite writer is Yamada Yusuke. His stories are interesting.
5. I like music. There is a piano in my house. I sometimes play the piano.
6. I don't like sports. I'm not good at running. I must do exercise.

Word Bank

活動の中で使ってみよう。

- 休暇 Vacation
静かな quiet どこもへない not ~ anywhere
家にいる stay home
練習試合をする have a practice game
- 天気 Weather
暖かい warm 寒い cold 涼しい cool
- 自由時間 Free Time
アニメ animation / anime 声優 voice actor
- 運動 Exercise
運動をする do exercise 週に2回 twice a week
- テレビ TV
ドラマ drama クイズ番組 quiz show
- 読書 Reading
推理小説 mystery novel
冒険小説 adventure story
- 音楽 Music
日本のポップ・ミュージック Japanese pop music
アメリカのロック音楽 American rock music
クラシック音楽 classical music
人気のある popular

「学ぶ力」を引き出す多彩なコンテンツ

英語が話したくなる活動用カード

各学年の巻末に付属しているカードを使って、ゲーム感覚で楽しく発話を引き出すスピーキング活動を行うことができます。

カードには**ミシン加工**が施されており、簡単に切り離して使うことができます。

1年 自己紹介用ネームカード

2年 説明ゲーム用カード

3年 即興スピーチ用カード



▲2年活動用カード

ディベートにも応用可能。高校でのより発展的な英語学習にもつながります！

Junior high school students should wear school uniforms.

The best place I have been to

▲3年活動用カード

自主学習の強い味方 マスキングシート

付属のマスキングシートを使って、重要語句やQ & A活動の自主学習をすることができます。代名詞や不規則動詞など、**まとめて覚えたい語句の学習**にも効果的です。

マスキングシートで勉強できること

- Activities Plus
- 語形変化のまとめ (代名詞, 名詞の複数形, 動詞の3人称・単数・現在形, 不規則動詞変化表ほか)
- Word List (一部)



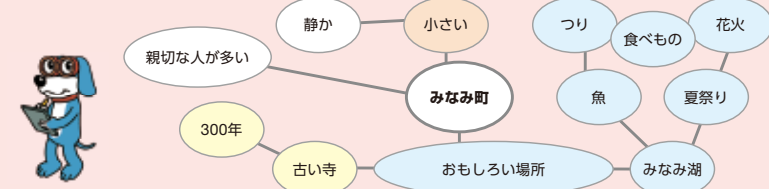
4技能5領域の“コツ”がわかる「Tips」

「聞く」「読む」「話す」「書く」のそれぞれの技能を高めるためのコツ (Tips) を紹介しています。コツを知ることによって、英語学習が楽しく、より効果的なものになります。

各技能の本質に関わるアドバイスを提示。英語学習に役立つのはもちろん、他教科とも共通する思考・判断・表現の力の育成にもつながります。

Tips 書くことを整理するコツ

- すぐに文章を書き始めないで、マッピング図を描いて、書くことを整理しよう。
- マッピング図から何について書くのかを決めよう。その際、英語で表せそうな部分を選ぶとよい。



Tips 3 for Writing

マッピング図を描いて、まとまった文章を書いてみよう。

My Town

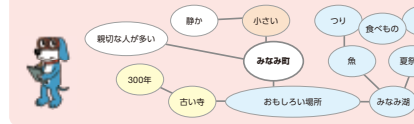
I live in Minami-machi. It is not a big town, but there are some interesting places.

One of the interesting places is Lake Minami. It has a lot of fish, so I sometimes go fishing there with my family. There is a big festival at Lake Minami every summer. We can see beautiful fireworks and eat delicious food. It is really fun.

We have a very old temple in the center of Minami-machi. It is about 300 years old.

Tips 書くことを整理するコツ

- すぐに文章を書き始めないで、マッピング図を描いて、書くことを整理しよう。
- マッピング図から何について書くのかを決めよう。その際、英語で表せそうな部分を選ぶとよい。



Let's Try! My Town や My School などの題でまとめた文章を書いてみよう。

“勉強のしかた”がわかる「How to Study」

「勉強する気はあるけれど、どうやって勉強したらいいの？」——「How to Study」はそんな声に答えるコーナーです。勉強のしかたを学ぶことで、**授業以外の学習も充実**します。

How to Study

英語力を高めるために、授業以外でどのようなことをしたのか先輩に聞いてみたよ！

教科書の本文を聞いて書くというディクテーションを行いました。発音やつづりもわかるので、一石二鳥の方法です。

ときどき友達と英語で会話をしたのが楽しかったです。覚えた単語や表現をなるべく使うように心がけるとよいです。また、文のしくみがわからないときは、友達と教え合いました。教えるときも教えられるときもありましたが、とても勉強になりました。

映画を英語で見ました。字幕なしで見ると最初は難しいので、最初は日本語の字幕、次に英語の字幕と段階的に見ていきました。毎日20分くらい取り組みました。

私は聞くことが苦手だったので、教科書を見ないで音声聞き、すぐにくり返す練習をしました。シャドーイングという練習方法がおすすめです。

毎日長文を1つずつ読み、速く読めるようになりました。長文の中にもわからない単語があってもすぐに辞書を引かないで、意味を推測しながら読む練習をしましょう。

たくさんの学習方法があるね。いろいろと試したり工夫したりしよう。

復習のしかたや、日常生活の中で取り組める工夫を各学年で紹介しています。シャドーイングやディクテーションなど、英語力を高めるさまざまな方法にふれることができます。

私は聞くことが苦手だったので、教科書を見ないで音声聞き、すぐにくり返す練習をしました。シャドーイングという練習方法がおすすめです。



持続可能な世界へ向けて

世界には、私たちの知らないことがあふれています。

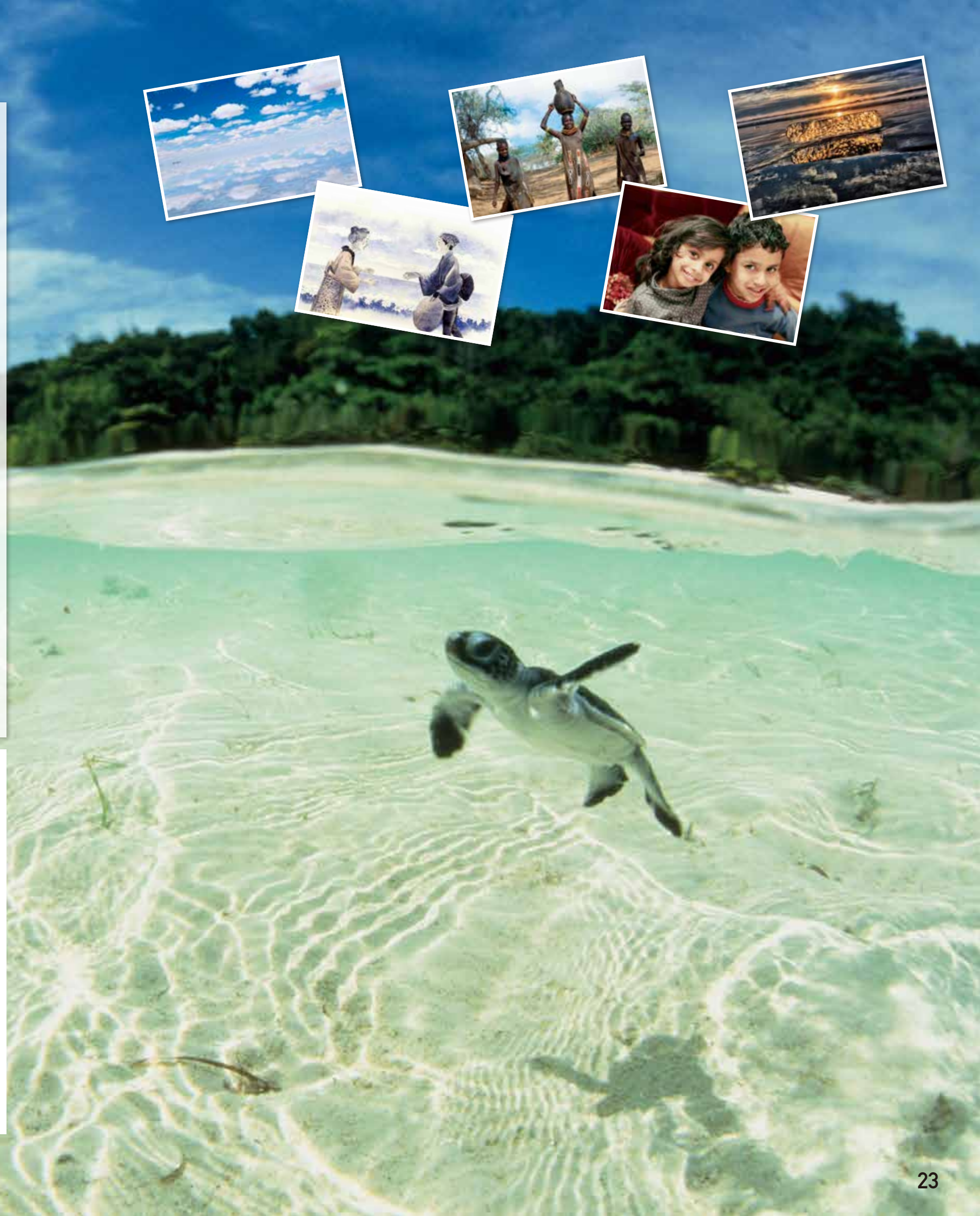
多様な人々がいて、多様な文化があり、また多様な課題があります。

国際社会のさまざまな課題を解決するための目標、SDGsの達成に向けた取り組みは、これからますます重要になっていくでしょう。

次代を担う中学生に、**世界の多様なあり方と課題**を見つめ、「**自分のこと**」として向き合ってもらいたい——それが『ONE WORLD』に込められた思いです。

世界と日本を知り、豊かな感性で、グローバルな課題に身近な場所から取り組む。そのために役立つ題材をふんだんに盛り込みました。

- 1 世界と日本を知る ～私たちの軌跡と現在～
- 2 日常生活から社会への視野を開く
- 3 未来をつくる知性と感性を育む
- 4 SDGsの達成をめざして



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世界と日本を知る ~私たちの軌跡と現在~

世界への視野を広げ、日本の文化・伝統を見つめなおす題材



1年 Lesson 5 School Life in Two Countries

ビデオ通話で、オーストラリアの中学生と交流します。日本の学校生活とどのような違いがあるのでしょうか。



1年 Lesson 4 Our Summer Stories

日本とアメリカ、それぞれの夏休みの思い出が描かれます。メイとアヤは日本の夏を、ポブはアメリカの雄大な自然を満喫します。



2年 Lesson 6 Castles and Canyons

アメリカからポブのいとこが来日しました。互いの国の名所を紹介しあいます。



2年 Project 2

沖縄、長崎、タイのアユタヤ遺跡、ボリビアのウユニ塩湖など、日本と世界で行ってみたい場所を自由に選んで紹介する活動を行います。



3年 Lesson 1 Aya Visits Canada

アヤが『赤毛のアン』の島にホームステイし、さまざまな風物にふれていきます。



2年 Lesson 5 How to Celebrate Halloween

ハロウィーンの起源を調べ、ブラジルや日本の伝統行事との類似点や相違点を探ります。



2年 Review Lesson Ms. King's Trip with Her Friend

キング先生が友人と、しまなみ海道でのサイクリングや俳句で有名な松山市の散策を楽しみます。



2年 Lesson 8

Rakugo in English

英語落語に取り組む桂かい枝さんがアヤたちの学校に来校。落語『動物園』を演じてもらいます。

1年 Lesson 8 Holiday in Hokkaido

北海道の美しい自然や動物を紹介します。3年生では、環境問題との関連についても考えます。

3年 Lesson 2 The Eagles in Hokkaido

3年 Review Lesson Washoku, or Japanese Cuisine

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「和食」の世界的人気の秘密はどこにあるのでしょうか。

カリキュラム・マネジメントでつながる理解



『ONE WORLD』には、「主体的・対話的で深い学び」をもたらすカリキュラム・マネジメントに活用できる題材が豊富に取り入れられています。ここでは、他教科や学校行事・活動と連携して学習できるレッスンの一部を紹介します。別添資料の「教科書の構成と内容」では、より多くの連携例を紹介しています。ご参照ください。

<他教科との連携の例> ☆は、学習時期が比較的近く、特に連携しやすい内容です。

学年	該当レッスン	レッスンタイトル	関連する教科	内容・テーマ設定の例
1	Lesson 8	Holiday in Hokkaido	社会 (地理)	日本の地理 (北海道)
1	Lesson 9	Helping the Planet	社会 (地理・公民)	環境問題 (温暖化・ゴミ処理問題)
2	Reading 1	Six Amazing Things about Penguins	理科 (第2分野)	動物の生態
2	Lesson 6	Castles and Canyons	社会 (地理/歴史)	アメリカの地理/☆日本の歴史、史跡
3	Review Lesson	Washoku, or Japanese Cuisine	社会 (公民)	☆伝統文化、異文化交流
3	Lesson 3	News and Ads	社会 (公民)	☆情報化社会、メディア、異文化交流
3	Reading 1	Audrey Hepburn	社会 (歴史/公民)	☆第二次世界大戦/平和、国際支援、国際機関
3	Lesson 6	Why do We Have to Work?	国語/社会 (公民)	ディスカッション/☆働くこと、ジェンダー平等、他者の意見の尊重
3	Further Reading 3	Free the Children	社会 (公民)	☆児童労働、人権、国際社会の抱える問題、国際支援

<学校行事・活動との連携の例> 学校行事や活動とも連携が図りやすいよう、レッスンの配置を工夫しています。

行事・活動	学年	該当レッスン	レッスンタイトル	活用の例
自己紹介	1	Lesson 1	Hello, New Friends	ネームカードの作成・クラスメイトとの交換
夏休み	1	Lesson 4	Our Summer Stories	夏休みの思い出の記録・発表
冬休み	1	Lesson 8	Holiday in Hokkaido	冬休みの予定の記録・発表
職場体験	2	Lesson 4	Workplace Experience	職場体験の記録・発表
遠足・修学旅行	2	Lesson 6	Castles and Canyons	訪問先の紹介
学級活動	3	Lesson 7	Debating Doggy Bags	ディベートの方法・注意事項



日常生活から社会への視野を開く

日常生活や身近な話題から、社会や将来を考える題材



2年 Lesson 9 Gestures and Sign Language

国や地域によるジェスチャーや手話の違いについて学び、コミュニケーションについての視野を広げます。

3年 Lesson 3 News and Ads

インターネットで海外のニュースやコマーシャル動画にふれ、現代のメディアの中で使用される英語を学びます。



3年 Lesson 7 Debating Doggy Bags

残った食事を持ち帰るドギーバッグの利用について、賛成派と反対派に分かれてディベートを行います。

反対派からの質問

Questions from the negative side.



What is the difference between food loss and food waste?

Food loss is defined as "discarded food that can be eaten." Food waste means "unused food discarded in the process of preparing food." It also includes stored food that has spoiled.

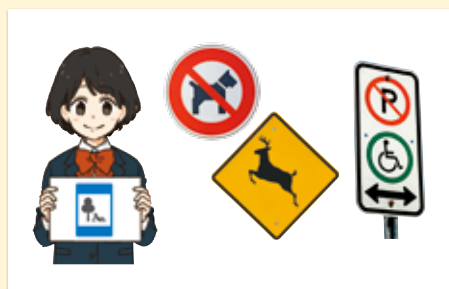


Thank you. That's all.



1年 Lesson 6 Lunch in Chinatown

アヤたちが中華街で、日本の中にある海外の文化を楽しみます。



1年 Lesson 7

Symbols and Signs

クイズでさまざまな標識の意味を考えます。また、絵で意味を伝達するピクトグラム(絵文字)についても学びます。



2年 Lesson 4 Workplace Experience

職場体験を通して知ったことや感じたことを、話したり書いたりして共有します。

未来をつくる知性と感性を育む

好奇心を伸ばし、思考や共感の力を高める題材



2年 Reading 3 The Gift of Tezuka Osamu

日本を代表する漫画家・手塚治虫。その生涯と作品に通底するメッセージを追います。



2年 Reading 1 Six Amazing Things about Penguins

ペンギンのあまり知られていない驚くべき事実に取りまります。



1年 Further Reading The Letter

小学校国語の教科書に取り上げられている、アーノルド・ローベルの『お手紙』を英語で鑑賞します。



1年 Lesson 3 My Favorite Person

活動を通じて、さまざまな分野で活躍する人物について発見を広げることができます。

3年 Lesson 4 Sports Legends

オリンピック選手について話し合うとともに、スポーツ選手を支える人にも焦点を当てます。



2年 Lesson 7

The Gift of Giving

チャリティイベント「サンタラン」にふれ、「与えること」の意味を考えます。

感性を刺激する読み物教材

ほかにも、心を動かす数多くの読み物 (Reading) が学習を彩ります。

- Fox and Tiger (1年)
- An Old Woman and a Dog (1年)
- The Golden Dipper (1年)
- Stone Soup (2年)
- Somebody Loves You, Mr. Hatch (2年)
- Painting the Fence (3年)
- John Mung (3年)



SDGsの達成をめざして

地球や人々の今とこれからの見つめる題材



2年 Lesson 2 Our Energy Sources

風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーについてのスピーチを通じて、その利点と課題について考えます。



2年 Lesson 3 Design in Our Life

汚れた水を清潔な水に変える製品などを紹介し、人々に役立つデザインの工夫に着目します。



2年 Lesson 1 Service Dogs

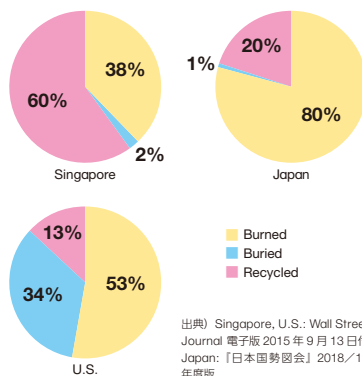
盲導犬や聴導犬について調べ、その役割への理解を深めます。



Amount of Trash	
Singapore	7.5
Japan	43.2
U.S.	254

(年間総量、単位 100万トン)

Where Does It Go?

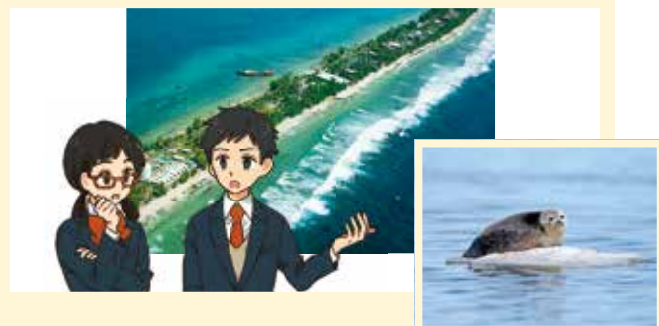


出典) Singapore, U.S.: Wall Street Journal 電子版 2015年9月13日付 Japan: 『日本国勢調査』2018/19年度版



1年 Lesson 9 Helping the Planet

地球温暖化やゴミ処理問題などの環境問題について調べ、解決へ向けた取り組みを模索します。



SDGsとは？

SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称であり、国際社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな課題を解決するために、国連サミットで採択された国際目標です。2030年までの目標達成に向けて、右の17のゴールと、169のターゲットが設定されています。



3年 Reading 2 My Prayer for Peace

「原爆に遭った少女の話」、「この世界の片隅に」などの作品を取り上げながら、戦争の脅威や平和について考えます。



3年 Further Reading 3 Free The Children

貧困や強制労働に苦しむ子どもを救うため、12歳で行動を起こしたクレイグ・キールバーガーの活動を紹介します。



3年 Further Reading 2 Counting on Katherine Johnson

差別と困難を乗り越えてNASAで活躍したアフリカ系アメリカ人女性、キャサリン・ジョンソンの生涯は、人々の心を勇気づけてくれます。



教育出版とSDGs

教育出版は、長年にわたり「地球となかよし」というスローガンを掲げてきました。これは、「人や自然を大切にしながら、共に生きていこう」とする理念を込めたスローガンです。教育出版はこの理念にもとづいてSDGsの達成に努め、さらにSDGsに寄与する「持続可能な開発のための教育(ESD)」の推進にも積極的に取り組んでいます。また、印刷する紙には再生紙を、印刷するインキには植物油インキを使用するなど、環境への配慮を徹底しています。



「まなびリンク」で『もっと学びたい!』にこたえる

「まなびリンク」は、教科書に掲載されたQRコードやURLからアクセスする、**無料のウェブコンテンツ**です。教科書本文やActivities Plus (→p.18) の音声を聞くことができます。場所を選ばず何回でも繰り返し聞くことができるので、家庭学習に活用でき、リスニング力の向上に役立ちます。

教科書の学びが
広がる / 深まる

まなびリンク

学習に役立つ情報を集めた教育出版のウェブサイトです。シミュレーションや動画、音声、読み物のほか、学習の参考になるウェブサイトへのリンクなど、各教科の特性に応じた多彩なコンテンツを用意しています。

【ONE WORLD English Course】まなびリンク

◀「まなびリンク」のサイト画面

Lesson 9

Gestures and Sign Language

Speak about gestures and sign language!

Do you know about gestures in different cultures?

3学年合計で150本以上の音声データにアクセスすることができます。



QRコードやURLを使って、「まなびリンク」サイトにジャンプ!

すべての生徒のための配慮

『ONE WORLD』は、すべての生徒にとって見やすく、読みやすく、学習しやすい教科書をめざして、学習者の立場からさまざまな工夫を取り入れています。

ユニバーサルデザインへの配慮

色覚の個人差を問わず、色の識別がしやすいよう、**カラーユニバーサルデザイン(CUD)**に基づく配色を用いています。CUDの専門機関による審査を受け、**認証マーク**を取得しています。日本語の活字には、見やすく、読みまちがえにくい**ユニバーサルデザイン・フォント**を使用しています。



CONTENTS

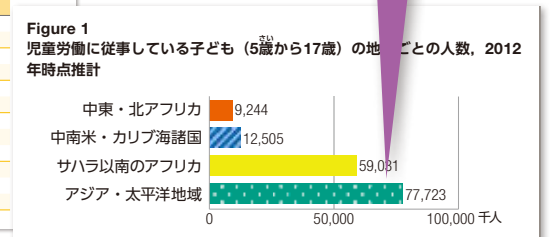
Lesson 1	Service Dogs [福祉、動物、介助犬] SVOO, that dog! My father gave me this book. I think that ~. / I'm sorry that ~.	7
Lesson 2	Our Energy Sources [自然科学、環境、エネルギー問題] 週末はテレビ、when, if When I come home, my father was watching TV. I like soccer because ~. / If it is fine next Sunday, I will ~.	19
Lesson 3	Design in Our Life [社会、科学技術、デザインの役割] 不定詞 I want to have ~. / Some African people use pots to carry water. I don't have time to watch TV today.	31
Project 1	あなたの夢を語ろう	40
Reading 1	Six Amazing Things about Penguins	42

自己評価

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100



見やすい配色を用いるだけでなく、図版にパターンの模様を入れるなど、色調以外でも区別できるように配慮しています。



読みやすさのためのさまざまな工夫

- 余裕のある行間や余白を確保するとともに、**ローマン体とブロック体**の書体を機能的に使い分けています。
- 英文は、生徒が読み取りやすいように、**折り返しの長さ**を工夫してあります。
- Further Readingでは**折り返しの長さ**を広げ、長い文章でも意味が取りやすくなるよう配慮しています。

切り取りやすい! ミシン加工入り 巻末カード

各学年の巻末カードには**すべてミシン加工**が入っています。**手で簡単に切り取って、すぐに授業で使うことができます。**

kangaroo

giraffe

panda

carpenter

教師用指導書で授業をサポート

『ONE WORLD』は教師用指導書も充実。教科書本文の詳細な文法解説、毎時の指導案、具体的な評価方法やリスニングのスキプトなど、多方面からのアプローチで授業をサポートします。指導書には、「Teacher's Book (朱書編)」・解説編などのほか、CD-ROMや音声CDのついた『Teacher's Manual セット』と、豊富なリスニング素材を収録する『Teacher's Manual 音声編』の2種類があります。

Teacher's Manual セット(6分冊+CD-ROM+CD)

▶ **Teacher's Book (朱書編)** ※分売品の発行も予定しています。

教科書同型の紙面に、授業に必要な情報を色刷りで掲載しています。生徒が持っている教科書と同様の紙面を見ながら、リスニングのスキプトや指導上の注意点などを即座に確認できます。

▶ **解説編**

語法の詳細な解説、本文の訳例、設問の解答例、扱われている題材の背景など、教科書内容に関わる幅広い情報を詳しく掲載しています。

使用されている写真やイラストに関する情報も紹介しています。

▶ **Team Teaching 編**

教師とALTによるチームティーチングの指導案を英語で掲載。ALTと指導の計画を共有することで、より充実した授業を展開することができます。言語活動で活用できるワークシートも収録しています。

▶ **評価・テスト編**

年間指導計画案・評価計画案にもとづく、具体的な評価基準や評価の方法などを示しています。評価活動用のワークシートや、定期考査に活用できるリーディング・リスニングの設問も掲載しています。

教科書の紙面を縮小して掲載しています。

リスニングのスキプトだけでなく、その和訳も掲載しています。

具体的な評価の方法や項目・基準を掲載しています。

文章読解、英作文、適語選択、並べかえ、リスニングなど、ワークシートの問題形式は多彩です。

各活動のねらいや解答を確認できます。

▶ **データCD-ROM / リスニングCD**

CD-ROMには、教科書本文とその和訳、リスニングのスキプト、各種ワークシート、『指導編』の年間指導計画案・評価計画案などのデータが収録されています。リスニングCDには、教科書のリスニング問題の音声も収録されています。

▶ **ワークシート編**

教科書のTool Kit, Task, Projectなど、さまざまな活動をより効果的に行うためのワークシートです。コピーして、課題提出用シートや生徒の理解の確認用シートなどとして活用できます。

Teacher's Manual 音声編 (CD)

教科書本文(リーディング教材を含む)、新出語句、キーセンテンス、リスニング問題の音声など、授業の際に必要な音源を網羅したCD編です。

※指導者用デジタル教科書(教材)をご購入いただくと、より効果的にご指導いただくことができます。
※これらの商品は企画中のため、内容・仕様等は変更することがあります。また、掲載している紙面は制作中のものです。



学習場面をつなぐ！ 広げる！ デジタル教科書・教材

デジタル教科書を使用すると、授業や学習の幅が大きく広がります。豊富なコンテンツで教科書の指導をサポートする「指導者用デジタル教科書（教材）」と、生徒が自由に書き込んで試行錯誤したり、考えを共有したりするのに役立つ「学習者用デジタル教科書」をご紹介します。

指導者用デジタル教科書（教材）

▶ 内容をとらえる基本ページ

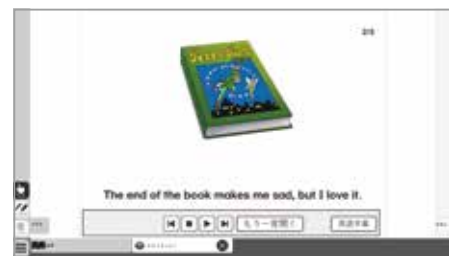
教科書本文は別画面で大写しにできます。音声の速さを調整したり、一部分だけを隠して本文を表示したりすることができるので、クラスの実態に合わせた授業づくりを実現できます。また、意味の切れ目ごとに訳を表示する「スラッシュ訳」は、内容理解に役立ちます。



▶ 4技能を培うしかけ

教科書の活動に合わせた、さまざまなしかけを用意しています。

- 読む** 本文の理解を助ける「スライドショー」や、語句の確認・定着に便利な「フラッシュカード」などの機能を搭載。
- 聞く** 本文だけでなく、リスニング問題でも音声の再生速度が調整できるので、きめ細やかな指導が可能です。
- 話す・書く** 各活動で表現例を表示することができ、生徒の思考を助けます。



スライドショー機能で、教科書の本文をイラストや写真とともに少しずつ区切って表示したり、音声を聞いたりすることができます。



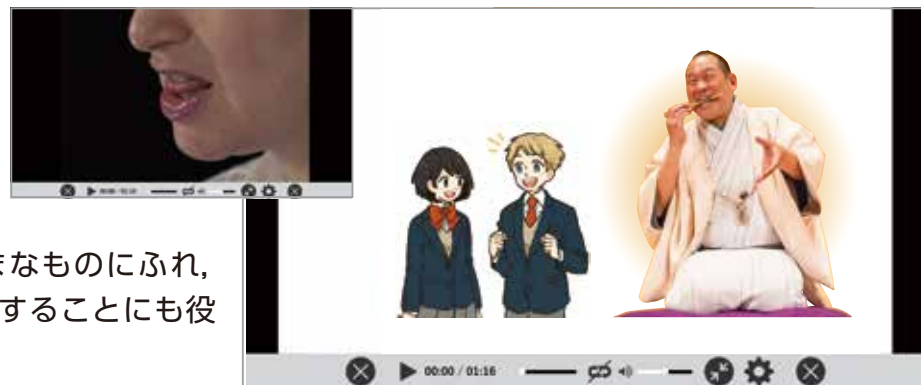
フラッシュカードは設定を細かく調整することが可能。生徒の理解に合わせた学習ができます。



リスニング問題では、解答やスクリプトを表示することができます。

▶ 充実の動画素材

英語落語や、英語の発音動画など、ぜひ動画で見たい素材を多く収録しています。単元の導入時や、本文の読み取りの確認に使用できるのはもちろん、世界のさまざまなものにふれ、見方や考え方を広げたり深めたりすることにも役立ちます。



学習者用デジタル教科書

▶ 使いやすい3つの基本機能

教科書紙面には、「拡大」「ページ送り戻り」「ペン／消しゴム」の3つの基本機能がいつでも表示されています。好きなところにすぐを書いたり消したりすることができます。



拡大

ページ
送り戻り

ペン/
消しゴム

教科書紙面と学習者支援画面の表示は、タブの選択で簡単に切り替えられます。

▶ 充実の学習者支援機能

さまざまな生徒を想定した、豊富な学習者支援機能を搭載しています。

こんなことができます！

- 自動音声読み上げ
- 総ルビ（ふりがな）
- 分かち書き
- リフロー（たて書き／よこ書き変更、書体変更、文字サイズ変更、色変更、行間変更）

さまざまな授業展開をサポートする周辺教材（備品）

フラッシュカード

教科書内容に即した単語やフレーズなどを、授業で扱いやすいカードにしました。

表

enjoy

裏

～を楽しむ

ピクチャーカード

大判カラー印刷のカードです。単元の導入で、教科書の挿絵を追いながらストーリーを確かめたいときや、教科書の写真を拡大して見たいときなどに活用できます。



※これらの商品は企画中のため、内容・仕様等は変更することがあります。また、掲載している画面は制作中のものです。

Q. 『ONE WORLD』では指導する語彙をどのような方針で選定していますか。

A. 新学習指導要領では、中学校において、小学校で学習した語（600～700語程度）に1,600～1,800語程度の新語を加えて指導することとされています。

『ONE WORLD』では、文部科学省の教材『Let's Try!』と『We Can!』、および教育出版が発行する教科書『ONE WORLD Smiles』に基づき、「小学校で学習したとみなした語」を621語選定しました。

新語としては、過去のさまざまな研究による重要語、頻出語リストや教科書における掲載率をふまえて、中学生のコミュニケーションや言語活動に必要なと考えたものを選定しました（1年生605語、2年生575語、3年生483語、計1,663語）。

Q. 新学習指導要領では、指導する語彙が大幅に増加し、学習上の負担も懸念されます。教科書では語彙をどのように扱っていますか。

A. 語彙指導において、すべての語彙を同じように扱う必要はなく、聞いたり読んだりして意味を理解できるように指導したい語（受容語彙）と、話したり書いたりして表現できるように指導したい語（発信語彙）があると考えられます。

受容語彙と発信語彙をすべての学習者に対して一律に規定することは難しいですが、『ONE WORLD』では、主に本文で扱っている語（前述の1,663語のうち1,130語）が最終的に発信語彙となるよう指導したい語です。その中で、さらに986語を「特に覚えたい語」として選定し、

Words & Phrases欄やWord Listにおいて太字で示すことで、学習段階や生徒の実態に応じた指導のご参考になるよう配慮しています。

Q. 不定詞や動名詞が1年生から使われていますが、どのような意図によるのでしょうか。

A. 2020年から教科となった小学校英語で、want to～, enjoy～ing, like～ing, be good at～ingといった表現が定型表現として指導されています。生徒が小学校で慣れ親しんできたこれらの表現を、早い段階から素地として活用しながらより深い学びにつなげるため、これらの定型表現に限って1年生から掲載しています。文法事項としての不定詞、動名詞については、2年生のLesson 3, 4で学習します。

Q. 過去形の学習時期が1年生のLesson 4となっていますが、どのような意図で配置されているのでしょうか。

A. 小学校英語で、went, ate, saw, enjoyed, wasなどの過去形の動詞が指導されています。前述のwant to～などと同様の考え方で、これらを早い段階から素地として活用するために、Lesson 4に配置しています。過去形の使用場面としては、小学校英語で指導されているのと同じ「夏休みの思い出」を採用しています。



Q. 新学習指導要領では、中学校で現行にない新しい言語材料をいくつも学習することになります。教科書でどのように扱われていますか。

A. 4つの事例をご紹介します。
【S+be動詞+形容詞+that節】

I'm sorry [happy] that～と、出来事に対する感想を述べる平易な表現として取り上げました。

【SVO+原形】

Let me see. やLet me talk about～. といった定型表現、〈help+人+動詞〉といった活用しやすい表現として取り上げました。

【現在完了進行形】

現在完了形の用法のうち、動作の継続を表すものと関連させて取り上げました。あわせて、旧版教科書では1つのLessonで扱っていた現在完了形を、2つのLessonにわたって丁寧に扱う形に変更しました。

【仮定法】

生徒にとって身近な形で扱えるように、友達の悩みを聞いたり、友達にアドバイスしたりする場面を題材として設定しました。「もし兄弟がいたら～できるのに」、「私があなたの立場なら～するのに」といった、感情がこもった会話を通じて、仮定法への理解を深めることができます。

Q. 教科書で使用している書体について教えてください。

A. 主に3つの書体を使用しています。

【1年生導入期の書体①】

小学英语教科書で使われているものと同じ、読みやすさ、書きやすさに配慮した字形の書体です。

ABCDEFGHIJ abcdefghij

【1年生導入期の書体②】

書き文字にも、一般の印刷物に使われる書体にも近く、小さいサイズでも可読性の高い書体です。1年生中盤のLesson本文や、3年間を通じて活動パートでも使用しています。

ABCDEFGHIJ abcdefghij

【1年生Lesson 8以後の書体】

一般の英語の印刷物、とくに書籍や新聞で広範囲に使われるローマン体の書体です。実社会で目にすることが多い代表的な書体に慣れ親しんでいくため、1年生の終盤から導入しています。

ABCDEFGHIJ abcdefghij

Q. 学習到達目標や評価については、教科書でどのように扱われていますか。

A. 生徒が、中学校3年間の学習について見通しを持って取り組めるようにするために、教科書の裏見返しに「Can-Do自己チェックリスト」を設け、5領域にわたって英語でできるようになりたい項目をわかりやすく掲げています。各Part等の冒頭に掲げた目標に向かって学習することで、英語でできるようになることが積み上がっていきます。

各Lesson末には、「Lesson ○ をふり返ろう」のコーナーに3つのチェック項目を示しています。言語材料の理解と活用、5領域を通じた理解や表現の活動、コミュニケーションの目的や相手を意識した活動についてふり返ることができま



教育出版 (17教出)
 中学英語 教科書番号

1年

704

2年

804

3年

904

著者の紹介

本多 敏幸 東京都千代田区立九段中等教育学校指導教諭

金森 強 文教大学教授

松本 茂 立教大学教授

石塚 博規 北海道教育大学教授

泉 恵美子 関西学院大学教授

伊東 治己 関西外国語大学教授

浦島 久 ジョイ・イングリッシュ・アカデミー学院長

小野 章 広島大学大学院教授

金枝 岳晴 東京学芸大学附属竹早中学校教諭

Peter J. Collins 東海大学教授

酒井 藤恵 東京家政大学准教授

関田 信生 東海大学付属仰星高等学校中等部教諭

田中久美子 東京都文京区立第六中学校指導教諭

中村香恵子 北海道科学大学教授

中山 晃 愛媛大学准教授

野田小枝子 津田塾大学大学院教授

福田スティーブ利久 文教大学准教授

三浦 幸子 都留文科大学教授

宮崎 太樹 東京都八王子市立ひよどり山中学校主任教諭

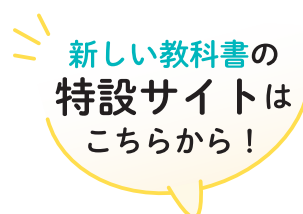
森 浩司 長崎県長崎市立片淵中学校校長

吉田 達弘 兵庫教育大学大学院教授

教育出版株式会社編集部

特別支援
 教育監修 名越 斉子 埼玉大学教授

SDGsとESD
 に関する校閲 手島 利夫 前東京都江東区立八名川小学校校長



教育出版ホームページからも
 アクセスできます。

本社・支社・営業所

本社	〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館	TEL. 03-5579-6278	FAX. 03-5579-6444
北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F	TEL. 011-231-3445	FAX. 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F	TEL. 0138-51-0886	FAX. 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F	TEL. 022-227-0391	FAX. 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F	TEL. 052-262-0821	FAX. 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F	TEL. 06-6261-9221	FAX. 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F	TEL. 082-249-6033	FAX. 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F	TEL. 089-943-7193	FAX. 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室	TEL. 092-433-5100	FAX. 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F	TEL. 098-859-1411	FAX. 098-859-1411

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。